

県会議員 奥村のり子の  
しん 赤旗 読者ニュース



2013年3月24日 第76号  
——奥村のり子生活相談所——  
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11  
電話&FAX 073-427-7121

県債残高1兆円超え、今後に心配  
生活保護関連や高齢者施策で質問



福祉環境委員会で質問しました

最近では急な気温の上昇で、特に車中では夏を思わせるような日差しの暑さを感じます。みなさま、くれぐれもお体にお気をつけて下さい。

しをあたためる施策が増えたわけではありません。県債残高はとうとう1兆円を超え、県民一人当たり100万円を超えています。今後この県債の負担が大変心配です。

福祉環境委員会は議会で唯一の民主党の委員長と自民党5名の委員、私の7名で構成されています。

私は生活保護関連施策について質問しました。収入が生活保護基準を下回っている世帯のうち現に生活保護を利用している世帯の割合が2割程度しかなく、制度の周知を求めました。

2月定例議会終る

さて、3月15日に2月定例議会が終わりました。2013年度の当初予算が可決されました。私たち県議団は一般会計予算をはじめ10議案に反対しました。議員団提案のTPP交渉参加に反対する意見書(案)は否決されました。

2013年度の予算案は前年比1.3%の減。補正予算を含めると実質的な規模では5.4%増。補正で増額されたのは公共事業と国からの交付金による基金積み立てだけです。

県民に身近な福祉の充実、から

また、高齢者施策については介護保険制度での『同居家族がいる場合の生活援助』のサービスが制限され困っている例を示し、質しました。

他に、子ども支援や保健医療計画での基準病床の問題など取り上げました。

ぜひ、委員会傍聴にもお越しください。だき応援をよろしくお願ひしたいと思います。(のり子)

中小零細業者は深刻です

参議院選挙区予定候補 原 やすひさ

3・13重税反対全国統一行動が日本列島600会場で開かれた。和歌山市では今年で44回目だとか。歴史を作ってきた集会和行動になった。

このデフレ不況下で、中小零細の業者は深刻な事態に追い込まれている。先日も和歌山市の商店街をまわって懇談してきたところだ。「株が上がっても円が下がってもワシらにはなんにも関係ない」とご主人がいう。そろそろや、株なんかほとんどの庶民は持っていない。

いま、何よりも消費税増税を中止し、勤労者の賃金を上げることが切実に求められている。壊された社会保障を立て直し老後の安心を広げることが大事だ。

参院選挙にむけ、業者さんたちと消費税の増税ストップのうねりを起こしてゆきたい。消費税増税を狙う財界に、政治を思うようにされてはたまつたもんじゃない。ほんとに力を合わせてこの歪んだ政治を変えようと思気高い集会だった。

(紀伊半島原やすひさブログ)から



リレートーク Relay talk

市議会で質しました

3月8日、市議会の一般質問で、本町地区に設置計画されている場外馬券売場設置を許すべきではないと市長に要請しました。

市長は「法的に認められた公営競技は悪いものとは思わない。設置に反対はしない」と繰り返しています。

私は1991年、大阪府警が場外売場内で馬券を購入したことで、補導した未成年者の実態を示し、馬券売場設置はするべきではないと要請しました。



Relay talk

大阪府警の補導実態はわずか5ヶ月間で中、高校生など685人が補導され、内訳は中学生23人、高校生443人、未成年者219人にも及び、「大阪の中学生は、この1年間に下級生から計15回3万円

を恐喝し馬券資金としていた」「窓口で馬券購入を拒否されたことはない、との回答は91%にも及んで

青少年に悪影響！「場外馬券売場設置を許可するな」

本町地区は36の単位自治会で構成されていますが、過半数の19単位自治会は馬券売場設置反対の意思を表明し、許認可する農林水産省に対して「施設設置反対・請願書」が既に届けられています。

また近隣には和歌山市が補助金を出して経営されている「みんなの学校」「キッズステーション」などの子供たちが集まり親子で勉強、育児相談する公的施設もあり、ふさわしい施設とはいえない事を指摘し「施設設置には反対しない」とする市長表明の取り消しを求めました。(写真は場外馬券売場が計画されているビル)

3月22日 市駅前宣伝、県議団会議 庁内挨拶

23日 紀南

24日 紀南

25日 年金・生保引き下げ反対集会

26日 訪問 地区社保部会

27日 県議団会議 産廃会議

28日 無料生活相談 庁内あいさつ

のり子の講演日程 (主なもの)

党市議会議員 渡辺忠広



しをあたためる施策が増えたわけではありません。県債残高はとうとう1兆円を超え、県民一人当たり100万円を超えています。今後この県債の負担が大変心配です。

福祉環境委員会は議会で唯一の民主党の委員長と自民党5名の委員、私の7名で構成されています。

私は生活保護関連施策について質問しました。収入が生活保護基準を下回っている世帯のうち現に生活保護を利用している世帯の割合が2割程度しかなく、制度の周知を求めました。

また、高齢者施策については介護保険制度での『同居家族がいる場合の生活援助』のサービスが制限され困っている例を示し、質しました。

他に、子ども支援や保健医療計画での基準病床の問題など取り上げました。

ぜひ、委員会傍聴にもお越しください。だき応援をよろしくお願ひしたいと思います。(のり子)